

新しい指導者資格制度

2022年度より現行の指導者資格制度「グランドマスター、マスター、リーダー」を廃止し、新しい資格に移行することになりました。今まで以上にキンボールスポーツを普及発展させるために新資格では下記のことに重点を置き資格認定を行います。

- オフィシャルルールを熟知している。
- 幅広い年齢層に講習や指導ができる。
- 初級から上級までレベルに応じた講習ができる。
- 大会でのマナーを含めたコーチングができる。
- 危機管理(救命救急法講習の受講)ができる。

新指導者資格はレベルに応じてA級コーチ、B級コーチ、C級コーチとします。

現行の指導者資格をお持ちの方は、講習を受講することで新資格への移行ができます。また、2021年度も現行の指導者資格の認定講習会や試験を行います。新資格へスムーズに移行できるようにします。

また、2022年度よりジャパンオープンオフィシャルルール部門では各チームにヘッドコーチが義務づけられます。ヘッドコーチを務めるにはA級もしくはB級コーチの資格が必要になります。幅広い知識を身につけ、実践を学び、普及とともにプレイヤーへの指導力を高めてください。

なお、変更案は2021年3月現在のものです。詳細は変わる場合があります。

新指導者資格概要(抜粋)

	A級コーチ	B級コーチ	C級コーチ
移行前の資格	グランドマスター	マスター	リーダー
移行条件	講習を受講	講習を受講	所定の手続き
資格取得年齢	18歳以上、但し高校生は不可	15歳以上、但し中学生は不可	15歳以上、但し中学生は不可
認定できる資格	B級コーチ・C級コーチ	C級コーチ	なし
認定方法	講習受講、筆記試験、実技試験	講習受講、筆記試験、実技試験	講義と実技講習
ジャパンオープンでのコーチの役割	オフィシャルルール部門でのヘッドコーチ、またはアシスタントコーチ	オフィシャルルール部門でのヘッドコーチ、またはアシスタントコーチ	オフィシャルルール部門でのアシスタントコーチ

各委員会の主な業務 2020年度～2021年度

当連盟では下記の6つの委員会とそれを束ねる委員長会議、経営戦略会議、指導者資格改正特命チームで業務を分担し、任務を遂行しています。かっこ内はメンバーの居住地もしくは日本連盟の役員の場合はその肩書が入っています。(敬称略)

■総務委員会…組織基盤の強化

委員長/酒井英登(富山) 委員/上山洋史(事務局長)

- 公益財団法人日本スポーツ協会への準加盟準備
- 各種規程の整備
- 47都道府県連盟の設立支援・既存都道府県連盟への支援強化
- 委員長会議の準備と運営

■国際委員会…国際連盟・各国連盟との協調

委員長/上山洋史(事務局長) 委員/高村幸恵(東京)、谷口さおり(千葉)

- 国際連盟及びアジア連盟との連絡、調整
- 各種書類等の翻訳

■普及広報委員会…普及施策の推進

委員長/辻貴雄(理事) 委員/伊藤潤(富山)、齋藤雅(兵庫)、高野薫(埼玉)、中島眞文(兵庫)、森川展彰(奈良)、栗山光英(和歌山)

- 障がい者のキンボールスポーツへの取り組み支援強化(指導マニュアルの作成)
- 競技PR動画の作成
- ホームページの制作

■育成強化委員会…育成環境の充実

委員長/石岡聖也(宮城) 委員/新垣直人(沖縄)、金子渚(東京)、當山勝由(千葉)、三尾剛(大阪)

- ジュニア合宿の企画・運営
- 育成強化マニュアルの作成

■日本代表委員会…日本代表の強化

委員長/石川剛史(理事) 委員/柴井健太(山梨)

- 日本代表チームの編成方法と強化方法の確立
- 日本代表ヘッドコーチの選考
- 日本代表合宿の運営
- 日本代表の広報に関すること

■競技委員会…ルール及びレフリー関連の統括

委員長/清水学(理事) 委員/宇江城卓(沖縄)、岡村光洋(兵庫)、岡本貴行(京都)、古賀充(石川)、石川剛史(理事)

- ルール変更に伴うルールブックの作成及び周知
- レフリーの育成及び認定・更新・新規講習の企画・運営
- 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに関すること

■経営戦略会議…社会貢献の充実

議長/藤林殊巳(副理事長) メンバー/高見彰(会長)、土田雅彦(顧問)、今泉良正(理事長)、黒川道子(副理事長)、岩佐浩之(理事)

- 組織の改革とガバナンスの強化
- 社会への積極的な関わり(居場所づくり事業やスポーツ婚活事業など)

■指導者資格改正特命チーム…制度改正と指導者育成

チーム長/今泉良正(理事長) メンバー/田中幸生(京都)、濱田順子(兵庫)、岡村光洋(兵庫)、柴井健太(山梨)

- 指導者資格制度改正案の作成
- 指導者資格更新および新規講習の企画・運営